

## 青井阿蘇神社 / 旧青井家住宅母屋・西藏・東蔵・門、禊橋（登録有形文化財）

青井家は、9 世紀初めから 19 世紀末まで、58 代にわたって青井阿蘇神社の宮司を務め、境内で暮らしていました。旧青井邸は江戸時代（1603～1867 年）にさかのぼり、同じ時代の神社各殿と他の建物を補完するものです。

この旧青井邸には、複数の学者や著名人が滞在してきました。そのひとり、江戸時代末期の政治論において影響力があった、武士であり歴史家の高山彦九郎（1747～1793 年）です。1877 年、この住宅は、武士の西郷隆盛（1828～1877 年）が明治政府に対し反乱を起こした際に、西郷を支持した人吉隊の拠点となりました。西南戦争として知られるこの反乱は、失敗に終わりました。茶室の木材の一部には、この時のものだと考えられる刀傷があります。

継承殿は、客人が宿泊したところで、二面に庭園の眺めを楽しむことができる畳の部屋です。4 枚 1 組の引き戸には、月を背景に飛ぶ雁と、葦の間に隠れる鴨が描かれています。これは、日本の芸術や文学で人気のある題材です。この住宅の敷地には蔵があり、青井阿蘇神社とその祭りに関するものが展示されています。また、古い井戸や伝統的な庭園もあります。庭園には、常緑低木、ウメの木、また飾りの石があります。